

ドリームちゅうおう

9

DREAM CHUOH
SEPTEMBER 2020
No.272



今月号の CONTENTS

- 02 特集
- 04 青壮年部・女性会の活動紹介 & 地域情報発信室
- 05 ～次代を担う～ & 旬感!きらり人
- 06 トピックス
- 15 JA information
- 16 直売所探検隊「楽市楽座」
- 17 あなたもチャレンジ! 家庭菜園 & JAイベント情報
- 18 読者からのお便り紹介/川柳
- 19 旬を食べちゃおう! おうちでごはん
- 20 クロスワードパズル



特集

コロナを乗り切る鳥取中央!!

新型コロナウイルスは私たちの生活の様々な場面で影響を及ぼしています。しかし、そんな中においても管内の生産者やJA鳥取中央グループは、今できることに全力を注ぎ、地域の皆様と一緒にコロナを乗り切っていきます！

今回の特集では、そんな生産者の姿や、JA鳥取中央グループの“笑顔”と“想い”をお伝えしていきます。

美味いぞー!!



白ネギ生産者

「日本一美味しい白ネギを目指して栽培しています。鍋だけではなく夏でも冷しゃぶにしたり、鶏肉と一緒にオリーブオイルで炒めてすき焼きのたれで味付けしてどんぶりにしたりと色々な食べ方があります。ご家庭の味で白ネギをたくさん食べてください!!」

おおにし はやと
大西 勇人さん

梨生産者

「農家も選果場もコロナ対策をしっかりして安心して出荷できる体制を整えています！」

今年も美味しい梨が出来たので、みなさんに食べて元気になってもらいたいです。コロナに勝とう!!」

食べて元気に☆



てらち まさあき
寺地 政明さん

良いブドウが出来ました!



ぶどう生産者

ぶどう生産者の野嶋さんと、選果場で働く岡本さん。生産者と作業員、JAと一緒に力を合わせることで、おいしいぶどうの供給を実現しています。

「生産者はいつもと変わらずに品質のいいものを栽培して、皆さんの家庭にお届けできるよう頑張っています!家族と一緒にぶどうを食べて笑顔になってもらいたいです。」

のじま まさのり おかもと あきひろ
(左)野嶋 正学さん (右)岡本 明大さん

ミニトマト生産者

「コロナの不安もありましたが、“乗り切らないと!”という思いで栽培しています。暑い中でも消費者の皆様に完熟でおいしい、そして喜ばれるトマトを届けたい一心で作りましたので、琴浦のミニトマトをたくさん食べてください!!」

みたに やすじろうみたに たかみち
(左)三谷 康二郎さん (右)三谷 孝道さん



見に来てね!



やまだ
(左から)山田

たかし
孝志さん

まやま
真山

いちろう
一郎さん

くまざき
熊崎

たかし
隆さん

ごどう
語堂

まさのり
正範さん

青壮年部



「コロナに負けない「ひまわり」のように、大きく、まっすぐ活動中! 琴浦町立聖郷小学校前のひまわり畑は9月中旬～下旬が見頃の予定です。お近くにお越しの際は是非、満開のひまわりを見て、みなさんにも元気になってほしいです!」



女性会

一緒に活動しませんか?

「コロナ対策をして徐々に活動を再開しています!そして現在、女性会の会員も募集中です。会員になっていただくと、会員スタンプカードの提示で直売所が5%割引になるなど嬉しい特典もあります。また、10月17日、18日には『あなたの暮らし応援フェア』を開催します!女性会会員はもちろん一般の方のご参加もお待ちしております。」

各支部の支部会長たち



待ってまーす!

(株)JA中央サービス



「コロナによりこれまで出来ていた車の中拭きサービスなどが出来なくなりましたが、その分明るく笑顔での接客に心掛けています。お客様との会話を大切に、元気を届けられるような接客をさせていただきますので、ぜひ給油所にお越しください。」

ささき てつや やの りょういち
(左)久米給油所 佐々木 哲也さん (右)矢野 良一さん



鳥取東伯ミート(株)

お肉を食べて
元気いっぱい!!

「コロナはもちろん、夏の疲れも出るところですが、こんな時だからこそ県産のお肉を食べていただき、免疫力をアップしてほしいです!畜産農家の皆さんを応援する意味も込めて、お肉をたくさん食べましょう!」

なかもと かおり はなもと かな たかぎ こうた
(左から)中本 香織さん 花本 佳奈さん 高木 弘太さん



こんにちは!
農協です!
いつもお世話に
なっています!



共済課



「コロナ禍ということで必ず事前にご連絡して組合員さんのもとに訪問させていただき、医療共済のお話しもさせていただきます。なかなか動きづらい面もありますが、お客様のニーズに合った接客に心掛けています!」

よしかわ まさひろ
(右)大栄支所 共済課 複合渉外 吉川 正宏さん



女性会

各支部の活動を
紹介します!!

青壮年部



8/21 北条支部SDGsブレスレット作り

女性会北条支部は北条支所で研修会を行い会員約50人が参加しました。最初に淀瀬千賀子支部長がSDGs(持続可能な開発目標)について説明を行い、女性会やJAの活動がSDGsの実践に結びついている事を、17の目標に当てはめて紹介しました。その後、家の光協会手芸教室の教材による17色のビーズブレスレット作りに挑戦。会員らは色や素材が異なる



ブレスレットを作る会員たち

17個のビーズに自分たちが取り組むSDGsの目標を重ねながら真剣に取り組みました。

倉吉支部 蔬菜専門部～小玉西瓜、パクチー栽培～

倉吉市青壮年部の蔬菜専門部の活動を紹介します。本年度の取り組みとして、盆前に出荷できる小玉西瓜の作型の確立を目指しています。今年もとても良い仕上がりとなり、8月1日に選果を行いました。小玉西瓜は一般の西瓜の3分の1くらいの大きさで、人気のある西瓜です。

また、秋にかけてパクチーの試験栽培を予定しています。ほうれん草などの葉物野菜と一緒に栽培すると虫がつきにくいということで始めました。昨年から取り組みで、毎年栽培者を増やして、各地区で試験栽培をしていく計画です。

今後も栽培技術の向上のため、試験栽培や情報交換など積極的に行っていきます。



小玉西瓜の選果の様子

地域情報 発信室



三朝町 ^{やまもと}山本 ^{えいこ}榮子 さん(88)

今回ご紹介するのは三朝町在住、編み物を始めて50余年、山本榮子さんです。

榮子さんが子どもの頃、毛糸で作られた洋服は手に入れることが難しく高級品だったと言います。そんな幼年期を過ごした榮子さんにとって「毛糸の編み物」は憧れであり、特別な想いを持つものでした。

30歳の頃に通信教育で編み物を習えることを知り、取り寄せた3冊の教材で基礎を学び始めたことがきっかけでした。その後も編み物関連の新聞記事や教本を使って独学で高い技術を習得しました。それが人伝えに広がり、町内で「編み物展」を開催したところ評判となって、今では毎年開催される恒例行事となりました。回を重ねるごとに鳥取市や米子市からも人が集まるようになり、編み物を通じて今も交流の輪を広げています。

「展を開くようになると色んな人から声を掛けてもらえるようになって、毛糸のプレゼントや励ましの言葉をたくさんいただけるようになりました。編み物教室を開いたり、冷え性に悩む方たちに腕足カバーを編んだりもしました。どんな小さなことでも人に喜んでもらえることがあれば、それが生きがいです。だから編み物をしていて本当に良かったと思っています」と幸福感一杯の様子が伝わっ

てきます。「どんなことでもやり始めると時間も忘れて没頭してしまうんです。腰が曲がった今でもチャレンジすることが大好きなんですよ」という榮子さん。これまでも「習字」「大正琴」「絵手紙」「パソコン」など色々なものに挑戦しています。「自分のしたいことが1番。それ以外は全部2番」と気負う様子もなくあっさりと話す様子がとても印象的でした。これからも充実した時間をお過ごしください。楽しいお話をありがとうございました。



へ次代を担うへ

計画通りに無駄なく農業

北栄町 西瓜・中玉トマト・ほうれん草生産者 ^{ひらのぶ}平信 ^{かずや}和也さん(35)

今回登場していただくのは、就農して16年、平信和也さんです。家業である農業を継ぎ、現在は、西瓜190a、中玉トマト20a、その他にもほうれん草、小松菜などをご両親と奥さんの4人で栽培しています。

「就農した頃は、農業について深く考える余裕も無く、単に『仕事』という感じでした。地域や生産部の集会などに参加したり、お客さんからの良い反応を見聞きする様になると徐々に『ブランド品を手掛ける生産者の1人』という意識を持つようになりました。今では西瓜選果場の検査員としての役割もあるので出来の悪いものは絶対に作れないですね」と西瓜生産者としての責任を強く感じているようです。

そんな平信さんへ就農して間もない頃の話を聞くと「最初は定植から収穫までの一連の工程を身につけるのが大変でした。これさえあればというような確実な教科書があるわけではないし、あつたとしてもその通りにはならなかったと思う。良いアイデアが浮かんでもやってみないとわからないばかり。そんな農業の難しさや奥

深さがわかってくるとそれが面白味になるんです。時には『もうやめたいなあ』と思うこともありますが、日々の管理を怠らないようにして、年々厳しくなる気候の中でも納得いくものが出来ると農業をやっている良かったと思えるんです」と前向きな姿勢で農業に取り組む様子が伝わってきます。「1つ先延ばしにすれば、後の作業全てに影響が出てしまうので計画を立てて無駄なく作業を進めることが大切ですね。そうやって忙しい時期でも自由な時間を持っているようにして、ストレスを溜めないようにしています」と話す平信さん。これからも頑張ってください。応援しています。



倉吉市 梨生産者

田村 ^{たむら}順一さん(70)



田村さんは、農業歴37年目になるベテラン農家さんです。梨「二十世紀」35a、「新甘泉」27a、「王秋」23a、「秋甘泉」15aを栽培されています。

栽培面では、天候が一番気にかけていることで気候に合わせた栽培管理を徹底している田村さん。「果樹は植え替えることが出来ないから毎年交配時期の気候には気をつけています」といいます。

田村さんに農業と梨作りの魅力を伺うと、「自分の自由な時間を、ある程度持つことが出来るところが魅力の一つ。それに納得いく梨が出来た時は、剪定から栽培管理まで自分のやってきたことが正しかったのだと自信が持てますね」と笑顔で話していただきました。

「販売キャンペーンなどで消費者さんと対話する機会に『美味しい!』と直接言われると、梨を作ってきて良かったという喜びと誇りを持てますね」とやりがいを話す田村さん。

また、「ここ近年は新品種もあり収穫時期も分散出来る体制ができてきています。作業が集中しないように品種検討するといいですよ」と梨作りに関して若手農業者へのアドバイスもいただきました!

糖度、食味、シャリ感、 どれも抜群！ 甘くておいしい“二十世紀梨”に 仕上がりました!!

秋の
味覚!

8月27日の販売解禁日に合わせ、8月26日から県中部管内で二十世紀梨の出荷が始まりました。

今年は、4月以降の低温で栽培に苦労する年になりましたが、定期的な降雨と、梅雨明け後の好天が続き糖度がのった二十世紀梨に仕上がりました。

J A鳥取中央全体で、露地梨「二十世紀」を144haで、31万6,600箱（1箱＝10kg）の出荷を目指します。



収穫作業の様子



大栄梨選果場の選果風景



琴浦梨選果場ハウス「二十世紀」の選果風景



東郷梨選果場の選果風景

出荷式

8/23 倉吉



初荷を積んだトラック



打吹童子ばやしによる演奏



選果の様子

8/26 東郷



テープカットの様子



トラック運転手に花束贈呈



初荷を積んだトラック

グリーンファーム大黒

8/5 ㈱グリーンファーム大黒が農業実践研修

J A 鳥取中央の子会社㈱グリーンファーム大黒は、8月5日～7日の3日間、鳥取県立農業大学校アグリチャレンジ科の研修生である宮本健汰さん(26)を受け入れ、農作業研修を実施。新規就農者の育成に力を入れています。同校のアグリチャレンジ科では毎年、公共職業訓練として3ヶ月の間、独立就農に必要な基本知識、実践に活かせる技能を学びます。初日は、同社職員の指導の下、抑制西瓜の交配作業を体験。慣れない作業に戸惑いながらも丁寧に作業を進め、職員らと一緒に汗を流しました。宮本さんは、「3日間の



交配作業をする宮本さん(手前)

研修を通して、農業の難しさや厳しさを体験し、その経験を活かしているような環境の変化にも対応出来る生産者になりたい」と就農に向けた意気込みを話しました。

湯梨浜営農センター

8/5 ピオーネの収穫が盆前にピークを迎えました!

J A 鳥取中央管内では盆を前にブドウの出荷が最盛期を迎えました。今年は、6月中下旬の着色期に夜温が低く推移したことで、例年に比べ着色の進みも順調で高品質なブドウに仕上がりました。8月5日には、同JA羽合ぶどう部会の検査部長を務める松本憲一さん(69)が7コンテナ(1コンテナ=28房)を収穫。松本さんは「梅雨明けで天候も回復し、食味の良



収穫作業に汗を流す松本さん

いブドウになった」と話しました。同部会では今年、「ピオーネ」は、42.5t、6,162万円の出荷、販売を目標に取り組みます。

北栄営農センター

花き「ストック」の播種作業順調

北栄町でストックの種まきが順調に進んでいます。大栄花き部会では202万3,000本、1億5,457万円の出荷、販売を目指します。近年は葬儀用としての需要が高いストック。部会としては主に白色をメインに栽培し、ほかにも濃いピンク色や、淡いピンク色などを10月中旬から2月下旬に関西地区を中心に名古屋、福岡などに出荷。平信誠史部会長は「コロナ禍



播種機を使って等間隔に種をまいていく平信部会長

で不安もあるが、その中でもしっかりと品質と量を確保して産地として大栄の強みを見せていきたい」と意気込みを話していました。

畜産

8/21 大栄地区畜魂祭

J A 鳥取中央肉牛肥育生産部大栄支部は、食肉として供された牛の御霊を供養する畜魂祭を北栄町で開きました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より規模を縮小して執り行われ、出席した生産者、JA関係者ら14人は読経の中、焼香をあげて家畜に感謝の誠を捧げました。同生産部大栄支部の山根孝幸支部長は「われわれの生活の糧となっている牛への感謝の気持ちを忘れずに、畜産業が更に発展するように努めたい」と話しました。



焼香をあげる山根支部長

湯梨浜営農センター

選果場内の機材導入で作業効率up!～東郷梨選果場～

東郷梨選果場は、国が行う産地パワーアップ事業を活用し、2020年3月に製品管理システムと封函機6台、インクジェットプリンターを導入しました。インクジェットプリンターは県内の選果場で初の導入になります。製品管理システムでは、箱についたバーコードを読み取ることでリアルタイムで出来高を把握。トラックの配車もスムーズになり、出荷予測が付きやすいため正確な情報を市場に提供し有利販売につながります。インクジェットプリンターでは、押印から吹き付け印字に変更したことで視認性が高く箱のロスが減り、選果出荷コストの減が見込めます。東郷果実部ではこれらのシステムを活用することで生産性の向上に努め、更なる「東郷梨」ブランドの維持・発展につなげていきます。



インクジェットプリンターでの吹き付け作業の様子

8/4 金融窓口ロールプレイング大会



接客をする米田さん

J A鳥取中央窓口ロールプレイング大会を開き、各支所の金融課窓口職員 10 人が接客技術を競い合いました。この大会はロールプレイングを通じて、窓口担当者の知識と意識の向上およびセールス技術のレベルアップを図ることを目的としています。出場者は 7 分間の競技時間で、顧客の多様なニーズに対応しながら、年金の受け取り口座や J A 一体型カードに関するセールストークを披露。審査の結果は以下の通りです。おめでとうございます！ 3 人は 9 月 9 日に開催する県大会に出場します。

優勝＝米田留美さん(赤碕支所) 準優勝＝内山瑠奈さん(東伯支所) 3 位＝長濱香苗さん(河北支所)

8/10～16 直売所お盆フェア開催



盆花に良いものはあるかしら?!

J A鳥取中央は 8 月 10 日から 16 日まで、同 J A 管内に 6 店舗ある直売所でお盆フェアを開きました。長梅雨の影響で花の栽培が難しい年でしたが、湯梨浜町にある直売所「ハワイ夢マート」には菊や百合などの綺麗な盆花やシブなどの枝物が店外の特設テント内に所狭しと並び、開店と同時に多くの来場者が訪れ色とりどりの盆花を買い求めました。同時期には 7 月末で好評終了した、コロナ禍により帰省できない家族や親類に直売所出荷物を送る際に送料の半額を助成(上限千円)する「ほっ鳥便」を期間限定で復活！ 藤原誠店長は「県産農作物を食べてコロナ禍でもほっとする時間を過ごしてほしい」と話しました。

8/29 「山田谷スーパー梨団地」の新甘泉 初収穫!



収穫作業に汗を流す唐崎さん

湯梨浜町にある梨団地「山田谷スーパー梨団地」で待望の初収穫を迎えました！ 同団地は、2017 年にジョイント用大苗 1,300 本を定植。網掛けジョイント栽培で作業の省力化と早期成園化を図りながら、農機具の共同利用や栽培技術を共有するなどして高品質な梨栽培を目指し取り組んできました。新規就農者 2 人を含む 4 人の入植者で管理。収穫初日は新規就農者の唐崎大義さん(28)が、30 コンテナ(1 コンテナ約 18kg)を収穫しました。唐崎さんは、「仲間と一緒に育てた梨がようやく収穫を迎えうれしい。2～3 年後には成園化し徐々に樹も梨も仕上がっていくと思うのでこれからが楽しみ」と話していました。

8/7 第 51 回総会～羽合苺部会～



総会の様子

羽合苺部会は湯梨浜町で第 51 回の総会を開きました。令和 2 年度のイチゴの生育概況、販売実績について報告し、令和 3 年度の事業計画、収支予算案について協議しました。

令和 2 年度は、16 人の生産者が 77.6 a の面積でイチゴを栽培し、出荷量が 6 万 6,903 パック(1 パック = 250 g)、販売金額は約 2,400 万円。平均単価は 1 パックあたり 359 円で期間を通して昨年を上回る結果となりました。

令和 3 年度は 11 人の生産者が全品種合わせて 44.5 a の面積で、4 万 2,300 パック(同)、1,522 万 8,000 円の出荷、販売を目指します。

8/4 新しい生活様式出前相談会



選果場内の説明をする寺地部長(左)と視察する荒川教授(中央)

鳥取県中部総合事務所と鳥取看護大学は東郷梨選果場で、新型コロナウイルス感染拡大対策と、経済・社会活動の両立を目的に「新しい生活様式出前相談会」を開きました。同大学看護学部看護学科の荒川満枝教授らが選果場内を視察。その後、寺地政明場長らと意見交換を行い、荒川教授から「感染させないためにはマスクを通りぬけた小さな粒子の濃度を減らすことが大事。換気に加えて空気の流れを作ることを意識してほしい」とアドバイスをいただきました。寺地場長は「これまでの対策に加え、アドバイスを参考にしながら休憩室や会議室の消毒など基本的なことを徹底していく」と話しました。

8/6・11 スイカ農家を支援～営農支援隊～



トラックからスイカを運ぶ支援隊員(右)

J A鳥取中央営農支援隊は8月6日と11日の2日間、北栄町内の農家のもとを訪れスイカ約1,600玉の収穫と市場への出荷作業を支援しました。支援を受けた農家は、お盆商材としてスイカを栽培し、8月上旬に収穫の予定でしたが、体調不良により収穫が困難になったため、J Aと行政が連携をとり今回の支援を実施。農家に対する支援活動は、今回で4件目となり、支援隊を統率するJ A営農企画部の山脇賢治部長は「少しずつだが、農家への手助けができていく実感がある。まずはJ Aに相談してもらい支援活動の場を増やしていきたい」と話していました。今回の支援には県が行う「緊急雇用対策農林水産ささえあい事業」を活用する予定です。

8/25 北栄町学校給食 地産地消率県内1位!



女性会が提供した野菜をふんだんに使った給食を味わう女性会員ら

女性会北条支部学校給食会、大栄支部学校給食会の会員7人は、北栄町が開いた北栄町学校給食地産地消懇談会試食会に参加し、学校給食の地産地消の推進などについて情報交換しました。同町では毎日1,400食分の給食を提供。県産品利用の地産地消率が98%と5年連続で県内1位を獲得! 町内産の野菜については、女性会でほとんどの野菜を提供しています。北条支部では、部員それぞれに担当品目を設け、栽培期間中にできるだけ供給できる体制を整え、大栄支部では、葉ねぎなど通年供給する食材もあります。北条支部学校給食会の淀瀬千賀子会長は「大人になっても思い出される味になるようこれからもおいしい野菜を作り続けていきたい」と話していました。

8/11 組合長担い手訪問



生産者と意見交換を行う栗原組合長(右)

栗原隆政組合長は、生産現場の意見を取り入れ、さらに充実した支援を目的に、担い手農家との意見交換を2018年から続けています。8月11日には、湯梨浜町の梨生産者、土海政信さん(71)、佐々木邦雄さん(51)、井上雅雄さん(37)と意見を交わしました。3人は今年、4月に急逝された故・竹内剛さんの園地を継ぎ、二十世紀などを栽培。「新規就農者と、後継者がいない農地のマッチングをしてほしい」などの意見が出ました。栗原組合長は「果樹園をスムーズに継承できる仕組みを作り、発信していく。営農支援隊や人材紹介センターとのマッチングを積極的に行ってほしい」と伝えました。



植え付け作業に汗を流す清水さん(左)

8/21

ラッキョウの植え付け作業を行いました

J A鳥取中央管内で、特産「ラッキョウ」の種球の植え付け作業が行われました。

北栄町では清水勝利さん(41)が植え付け機を使い、3人1組で種球を選別しながら深さ12cmに植え付けました。

清水さんは93aに作付け、1日当たり3万2,000球、8月末までに計36万球を植え付けし、「作付け管理も徹底し、消費者が喜ぶラッキョウを生産したい」と意気込みました。

J Aでは178人が52.5haで栽培し、今年度は「洗い」「根付き」あわせて973.4t、5億5,184万円を販売しました。

特産梨をSNSでPR!



動画撮影中の平井知事(左)と寺地政明東郷果実部長(中央)

J A鳥取中央は特産品の“梨”を広くPRするため、SNSでの発信に力を入れています。

公式TwitterとInstagramでは、平井伸治鳥取県知事を始め、梨生産者や石田倉吉市長、宮脇湯梨浜町長、小松琴浦町長などに出演していただき発信力の強化と消費拡大、新たなファンの獲得につなげます。

各市町村の特色を生かした写真や動画をSNS上でアップしていますのでぜひご覧いただき、「鳥取梨を食べようフォトキャンペーン」への応募もお待ちしております!

※P11にあるQRコードから閲覧できます

8/25

農大へ農業実習用機材を寄贈



目録を贈呈したJA共済連鳥取 運営委員会 影井克博会長(右から2番目)

県内3 J AとJ A共済連鳥取は、「地域活性化・農業生産者の育成に貢献する取り組み」の一環として、鳥取県立農業大学校へ農業実習用機材と備品を寄贈しました。寄贈式では、共済連鳥取運営委員会の影井克博会長から鳥取県農林水産部農業大学校の地原聡子校長へ目録が手渡されました。寄贈品は、「ロボット草刈機」1台、「ソーラー自動かん水システム」1台、「小水量液肥混入器」1台他計11品目。同大学のスマート農業技術の向上や教育実習環境の充実に役立てられます。影井会長は、「最新技術の普及と活用を促進させ、向上した栽培技術を未来の農業に繋げてほしい」と述べました。

8/27

鳥取二十世紀初販売セレモニー



市場に向けて産地PRする栗原会長(中央)、寺地政明鳥取県農協梨果実部長協議会長(左)

J A全農ととりは、大阪市中央卸売市場と東京青果(株)をテレビ会議システムでつなぎ、鳥取二十世紀初販売セレモニーを開きました。8月27日には初せりが行われ、東京都中央卸売市場大田市場の東京青果が1箱(10kg)7,000円の高値を付けました。全農ととりでは、販売対策として需要に応じた玉サイズを割り当て、売り場を確保するなどして有利販売に努めていきます。コロナ禍で対面販売が難しくなっていることから、新たにSNSを立ち上げ消費者プレゼントキャンペーンを実施。公用車のホイール広告や鳥取梨の品種を紹介したポケットティッシュの配布などで消費の拡大を狙います。

和牛生産基盤底上げ～JA鳥取中央地方創生総合戦略～



増頭計画についてJA畜産担当職員と話し合う山本さん(左)

増頭では鳥取県の事業を活用。繁殖和牛購入金額の補助による手厚い支援で、同事業を使い、2019年までには、肥育農家で181頭、酪農家を含む繁殖農家が230頭を導入。しかし、県基幹種雄牛「白鵬85の3」の産子は高値が続ぎ、県内の子牛市場で繁殖用雌牛の確保が難しいのが現状です。倉吉市の和牛繁殖農家、山本茂正さん(51)は県外から雌子牛を積極的に導入し、5年で和牛雌牛20頭を導入。「雌に『白鵬85の3』を交配させ、能力の高い牛を育てたい」と改良に余念がありません。

繁殖和牛の増頭は、2016年から取り組む地方創生総合戦略の柱の一つです。同戦略では、梨やイチゴ、低コストハウスなどの面積拡大にとりくみ、2020年度の農畜産物販売金額は168億1,000万円を目標に取り組んでいきます。

畜産が盛んなJA鳥取中央では、繁殖和牛の増頭に力を入れています。県の支援事業を活用して肥育農家らに繁殖経営を促し、生産基盤を強化することで子牛市場への出荷を増やし、地域の畜産力の底上げを目指しています。

2020年7月末の繁殖和牛頭数は2015年比7割増の1,476頭。県内子牛市場の2020年度の年間出荷頭数目標は2015年度比5割増の960頭に作る計画です。当初、目標に掲げた繁殖和牛頭数の1,350頭を2018年度に前倒しで達成したため、2020年までには1,500頭までの目標を新たに設定しました。

台湾向け梨穂木専用園地設置 輸出拡大へ



定植用の大苗の生育を確かめる安藤宮農指導員

JA鳥取中央は、台湾輸出向け梨穂木の専用園を設置し、輸出拡大に取り組んでいます。専用園は20aで早期成園化ができる樹体ジョイント仕立てで栽培し、2022年から穂木取りを計画。果実生産に比べ、袋掛けなどの作業が少ないため、もうかる経営モデルを示し、新たな所得源として栽培の普及を目指します。穂木輸出は23年前からJA全農ととり経由で取り組み、輸出する品種は「新興」。温暖な気候の台湾では木の休眠がなく花芽が付かないため、日本から輸入した穂木を在来種に接ぎ木し、梨を生産しています。穂木の規格は、枝の長さ10～55cm、太さ4～9mmで、花芽が二つ以上。出荷時期は11月中旬～12月下旬で、梨生産よりも栽培の手間が少なく、10aあたりの目標販売金額は約50万円としています。JA鳥取中央管内では27軒が穂木を輸出。しかし、果実の収穫後の剪定枝を出荷するため手間がかかり、出荷量が思うように伸びず、台湾の需要に追いついていないのが現状です。2019年は県全体で約12.5tを輸出。全農ととりがまとめる2003年以降で最多だった2004年(44.7t)に比べ32t減っています。JA琴浦宮農センターの山本展史課長は「高齢農家に、負担が少ない穂木を生産してもらえば土地の有効利用になる」と説明。琴浦町のJA東伯梨モデル園に20aの専用園を設け、12月には大苗240本を定植する予定。樹体ジョイント仕立てにすることで、慣行栽培に比べ3、4年早く穂木の出荷が見込めます。JAでは専用園での取り組みを軌道に乗せ、収入が見込めることを周知し、出荷の拡大を目指します。

「鳥取梨を食べようフォトキャンペーン」開催中!

JA鳥取中央の公式“Twitter”、“Instagram”をフォローして「#鳥取梨を食べよう」と、「#JA鳥取中央」のハッシュタグを付けて鳥取梨と〇〇な写真投稿していただいた中から抽選で74(ナシ)人に、大きくて甘い「王秋梨」をプレゼント!

沢山のご応募お待ちしております!!

応募期間:2020年10月31日(土)まで



青果物販売100億円達成へ SNSフル活用



100億円達成にむけSNSでPRを強化

ＪＡ鳥取中央は、2020年度の青果物販売100億円達成に向け、インターネットをフル活用した販促に力を入れています。SNSで旬の青果物情報をタイムリーに発信。広報誌やちらしで、ネット通販へ誘導するQRコードの露出を増やし、売り上げを伸ばしています。新型コロナウイルスの影響で販促活動が制限される中、若者層など新たな需要獲得に励みます。スイカの販売では、人気動画クリエイターを起用しツイッターでの発信を強化。SNSの利用頻度が高い若年層へアピールし、ファン獲得につなげました。通販サイトでは今シーズン、スイカの販売額が前年比1.3倍、メロンが同2.3倍。8月下旬から販売が始まる梨でもSNSを活用したPRに力を入れ、人気動画クリエイターのツイッターでの動画投稿に加え、8月12日からフォトキャンペーンを実施中。ハッシュタグ「#鳥取梨を食べよう」と「#ＪＡ鳥取中央」を付けて写真を投稿していただいた中から抽選で、梨にちなんで74（ナシ）人に、梨「王秋」を1箱（5kg）をプレゼントします。青果物販売100億円達成に向け、ＪＡ栗原隆政組合長は「ＪＡの役割を発揮し、行政からのバックアップも受けて100億円を達成し農家の苦労にこたえたい。コロナ禍でこそ得た販売戦略を次年度以降も継続していく」と意気込みを話しました。

「鳥取和牛」一貫経営 コロナ禍でもひたむきに



良質な和牛生産に力を注ぐ山下剛さん

新型コロナウイルスの影響で牛枝肉価格が低迷する中、和牛一貫経営する北栄町の山下剛さん（43）、晃さん（39）兄弟は、ひたむきに、「鳥取和牛」の生産に取り組んでいます。「情勢が回復したときに良い牛を出荷できるよう今まで通りに飼育する」と剛さんは力を込めます。山下さん兄弟は、弟の晃さんが繁殖を担当し、雌牛100頭、もと牛70頭の世話をしています。剛さんは肥育を担当。肥育牛100頭を飼育し、年間約40頭の「鳥取和牛」を出荷しています。コロナ禍で枝肉価格は、「平均で1頭当たり約30万円下落した」と剛さん。山下畜産の4月の売り上げは、子牛販売分がなかったこともあり前年同月に比べ6割下がりました。餌代など生産費を下げることは難しく、利益がほとんど出ない状態。移動自粛で、県外市場へ出向けず、枝肉を確認できないことや、購買者と意見交換の場がなくなったことも生産に影響しているといいます。ＪＡ鳥取中央肥育生産部の部長を務める剛さん。同部では状況を見ながら、新しい発想を取り入れた販売戦略を考え消費拡大を促していく方針です。山下畜産では、コロナ以前から繁殖・肥育合わせた飼養頭数を330頭に増やす目標を掲げ、「大変な時期だが、目指すところは変えずに取り組みたい」と剛さん。「農家はコロナ禍でも安全・安心な肉牛を育てている。今だからこそ国産牛肉を多くの人に食べてもらいたい」と訴えていました。ＪＡは国の肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）を基本に行政と連携して支援体制を整え生産者をサポートしていく方針です。

新型コロナウイルスの影響で牛枝肉価格が低迷する中、和牛一貫経営する北栄町の山下剛さん（43）、晃さん（39）兄弟は、ひたむきに、「鳥取和牛」の生産に取り組んでいます。「情勢が回復したときに良い牛を出荷できるよう今まで通りに飼育する」と剛さんは力を込めます。山下さん兄弟は、弟の晃さんが繁殖を担当し、雌牛100頭、もと牛70頭の世話をしています。剛さんは肥育を担当。肥育牛100頭を飼育し、年間約40頭の「鳥取和牛」を出荷しています。コロナ禍で枝肉価格は、「平均で1頭当たり約30万円下落した」と剛さん。山下畜産の4月の売り上げは、子牛販売分がなかったこともあり前年同月に比べ6割下がりました。餌代など

JAからの重要なお知らせ

水災は家財家具にも**想定外の被害**をもたらします!!

JAの**My家財**なら、**損害の額をそのままお支払い**※
火災はもちろん、自然災害にも手厚い保障で安心です!

※お支払いには所定の条件があります。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

◇住宅（木・防火造）内の家財・家具一式 共済期間（保障期間）30年
臨時費用30% □座振替扱い
火災共済金額・・・500万円 月々 **2,218** 円
満期共済金額・・・17万円 (令和2年4月現在)

家財家具を一括揃え直すと? <-前>



家財の総額

例えば、4人家族(夫婦、中学生、小学生)で住宅面積(延べ面積)6.6㎡以上13.2㎡未満なら

1,270万円

※実際の総額は異なる場合があります。
※ＪＡ共済連調べ

ご加入にあたりましては、お近くのJA支所へお問い合わせください。

【20312500236】

JA鳥取中央

JA共済

“大栄葉ねぎ” 一億円産地へ！



厳しい規格の調製で、棚持ちの良い葉ネギを出荷する中原部会長

の需要が高い関西地方や広島県に8月上旬から2月に出荷します。また、害虫による葉の食害を受けやすいため、天候や気温に応じて防除を徹底。同部会は、2019年から「LINE」で専用グループを作り、気温の変化やハウス内を見ながら、適期防除や栽培技術などの情報を共有。部会一丸で高品質生産の安定、収量の向上を図っています。2020年度は9戸が6haで114t、1億円の出荷、販売を目標に取り組み、同部会の中原直樹部会長は「市場から求められる品質を保ちながら、収量を上げる」と意気込みを話していました。

JA鳥取中央北栄町葉ねぎ部会は、ハウス栽培するスイカの後作に葉ネギを取り入れ所得向上を実現しています。部会設立以降、過去最高を記録した2018年産は、10戸が114tを出荷。販売金額9,565万円で、10a当たり148万円を売り上げ、新たな収益作物として、1億円産地を目指します。葉ネギは、香りが強くやわらかいのが特徴。葉味需要として人気があります。

同部会では、青ネギの名で出荷していましたが、他産地と差別化するため、1997年に「葉ねぎ」へ変更しました。葉を2～2.5枚に調製し、品質の高い葉だけを出荷することで、葉先の黄化が少なく棚持ちが良くなり、市場からの評価が高いです。県内市場と、粉も

営農渉外活動を強化～全組合員訪問を目指す～



組合員と対話するJA職員(左)

JA鳥取中央は7月から購買事業で組合員に出向く体制を強化しました。営農センター資材課の職員らが2人以上1組で月2戸以上を訪問します。購買事業でのJA利用減少に歯止めをかけるため、主に資材購入が減少傾向にある組合員と対話し、JA事業や商品の利点を説明。さらに詳しい商品の紹介を求められる場合はメーカーなどと同行します。

訪問農家への対応方法の見直しや担当者のスキルアップに役立てるため、情報は職員間で共有。将来的には全組合員に出向き、信頼関係の構築を進めます。

担当者の知識向上に向けて、メーカーによる商品の基礎研修会も行っています。

組合員からは「職員に意見を言える機会ができてよかった」といった声があがっていました。

JAの戸田勲常務は「営農渉外活動で、JAへの一層の理解と結集で、生産者の所得最大化を目指す」と意気込みました。

(株)JA中央サービス 秋季農繁期対応 期間予定表

営業時間(通常通り)

午前8時30分～午後5時20分

※土日・祝日は、少人数による対応となりますので、ご理解・ご協力の程よろしく
お願い致します。

センター名	開 始	終 了	電話番号
中央農機センター	9月13日(日)	10月18日(日)	28-3270
三朝農機事業所	9月 6日(日)	10月11日(日)	43-1831
湯梨浜農機センター	9月13日(日)	10月11日(日)	32-0713
北栄農機センター	9月20日(日)	10月18日(日)	37-3322
琴浦農機センター	9月 6日(日)	10月11日(日)	53-2653
赤碕農機事業所	9月13日(日)	10月18日(日)	55-1411

地元ビール販売開始！～倉吉地ビール「BREW LAB」



「BREW LAB」の販売開始！

倉吉市の倉吉ビールは8月29日、クラフトビール「BREW LAB（ブリューラボ）」を発売しました！

年内には、原料の大麦は地元のＪＡ鳥取中央産に切り替え、ホップも県産を使う計画。市内のビール醸造所には、出来立てのクラフトビールと料理も楽しめるレストランも併設し、地元の麦と水、県のホップで造ったオール鳥取産による新たな特産品と、憩いの場の提供で地元で愛されるビールを目指します。

倉吉ビールは2019年5月に設立。設立した同市出身の福井恒美代表（写真左）は、倉吉の伝統文化と、新しい地ビールを掛け合わせた新事業で、地元で社会貢献したい考えです。

ＪＡ管内では2020年産大麦は92haを栽培。活動主旨に賛同するＪＡでは、大手ビール会社を通じて原料供給を目指す方針です。

毎週500ℓを仕込み、2020年度は2万ℓを目標。4種類のビールをベースに、イベントに合わせたオリジナルビールも醸造する計画です。また、10月ごろには市のふるさと納税返礼品に認定される予定で今後ますます知名度を高めていきます。

代表の福井恒美さん（62）は「地元で親しみをもって長く愛される世界一うまいビールを目指す。市民全員に知ってもらい、倉吉市の歴史ある街並みの中で飲むからこそ意味のあるビールを作りたい」と話していました。

「星空舞」作付拡大しブランド強化！



圃場で「星空舞」の生育を確認する山根組合長

く、草丈が低くて倒れにくいので他品種から切り替えた。県オリジナル米として消費の底上げに期待する」と話しました。

2024年産には同ＪＡで1,000haまで面積を拡大し、県全体では3,000haの作付を目標に掲げます。

ＪＡ鳥取中央は、県のオリジナルブランド米「星空舞」の2020年度の作付を前年比195ha増の338haに拡大し、ブランド強化に取り組んでいます。食味の良さに加え、耐暑性で一等米比率が高く、2019年度は95％でした。今年は生産者が337人増え、587人が作付します。

「星空舞」は「星空舞」独自の「生産者登録制度」を定め、生産者はＪＡ「星空舞」地域研究会に所属します。栽培指針を記載した栽培手帳をもとに、栽培管理日誌の提出が義務付けられ、栽培方法・管理の統一を目指します。

倉吉市の農事組合法人四王寺宮農組合は2020年産で前年比1.3ha増の約2.3haを栽培。山根裕正組合長は「収量、品質ともによ

「花のまつり2020」 第50回鳥取県花き品評会への出品をお願いします

花き生産者のみなさまへ

鳥取県花き振興協議会では、県内の花が一堂に集う「花のまつり2020」を右記のとおり開催し、その中で花き生産者の技術向上を目的に「花き品評会」を行います。出品いただいた中から、優秀作品には農林水産大臣賞等を授与するとともに、花のまつり会場内で展示し、市場関係者や生花店、一般の方に広く公開しますので、多くの出品をお願いします。

出品方法等については、お近くのＪＡ、農業改良普及所または鳥取県花き振興協議会事務局（電話0857-26-7282）まで、お問い合わせください。また、出品いただいた方全員に粗品を進呈します。

<花のまつり概要>

日時：令和2年10月24日（土）～25日（日）
午前9時開場

※花き品評会は10月23日（金）に開催し、（昨年の農林水産大臣賞）
出品作品の展示は、24（土）と25日（日）に行います。

場所：倉吉未来中心（倉吉市駄経寺町212番地5）
内容：花き品評会出品作品等の展示



※新型コロナウイルス感染症拡大状況により開催内容に変更が生じる場合がございますので、お越しの前にはHP(<https://www.pref.tottori.lg.jp/29879.htm>)等で最新の情報をご確認ください

JA鳥取中央版

第10回

『就農相談会』

毎月第2水曜日開催

日時:令和2年10月14日(水)
13:30~16:00JA鳥取中央本所 3階会議室
(倉吉市越殿町1409)農業に興味のある方、
就農を考えている方、
お気軽にお越しください!※相談会の参加には開催日から10日前までに
事前申し込みが必要となります。JAのHP、各
支所、各営農センター、直売所、市役所、役場
等に申込用紙があります。

理事会報告

提案事項は原案どおり承認されました。

第7回(令和2年6月29日(月)開催)

- 1) 中央会の役員改選に伴う業務執行体制と役員報酬の変更について
- 2) 令和2年度事業更改計画について
- 3) 組織規程の一部変更について
- 4) 職員就業規則の一部変更について
- 5) 他団体の役員推薦について
- 6) ガーデンヒルズ立石台下水道設備の琴浦町への移管(寄付採納)及び改修工事について
- 7) 固定資産の取得に伴う資金の借入について
- 8) 利益相反契約の締結について
- 9) 資金の貸出について
- 10) その他

第8回(令和2年7月31日(金)開催)

- 1) 令和2年度 第1-四半期決算監事監査改善指摘事項に対する措置方針について
- 2) 組織規程の一部改正について
- 3) 職制規程の一部改正について
- 4) 農産物検査業務規程の一部変更について
- 5) 固定資産の取得に係る資金の借入について
- 6) 固定資産の取得に係る投資計画等の点検について
- 7) 資材店舗の休日営業体制の見直しについて(案)
- 8) 令和元年産米の共同計算にかかる本精算について
- 9) その他



JAグループ鳥取のJA自己改革の取り組み

平成27年に開催した第48回JA鳥取県大会以降、JAでは組合員・地域に寄り添い求められる組織であり続けるためにJA自己改革に取り組んできました。今回は直近のJA自己改革の取り組みを紹介します!

大型特殊免許 取得支援



「道路運送車両の保安基準第55条」に基づく基準が変更されたことを受け、多くの組合員が大型特殊免許(農耕車限定)を求めています。その要望に応え、JAグループ鳥取独自の技能講習会を開催しています。また、受講者に対し、受講料のうち1万円を助成する事業にも取り組んでいます。令和3年2月末までに約500名の免許取得機会を提供することを目指しています。
(令和2年7月末時点の合格者:166名)

鳥取県産品 消費拡大運動



新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を受けた鳥取県産農畜産物の消費拡大運動を行っています。第一弾では和牛肉(令和2年5月末時点で和牛2~3頭相当の約475万円分を販売)、第二弾では牛乳・乳製品のJA役職員斡旋販売を実施。また、「牛乳モオ1杯運動」のチラシをJA直売所・県内小売店等に掲示し、消費者に県産牛乳の消費を呼び掛けています!

農業者 人間ドック助成事業



申請件数(令和2年7月末時点)
42件(前年同時点:40件)

農業者の皆様の健康を守り、地域農業を発展させていくために、正組合員とご家族で国民健康保険に加入されている65歳以下の方を対象に人間ドック受診費用を助成しています(最大2万円)。

申請件数は前年を上回る状況です!(左記参照)ご自身の健康状態をチェックして元気な営農を目指しませんか?(詳細は各JA支所・支店窓口まで。申込メ切:令和2年10月31日)

「JAがあって良かった」「JAはなくてはならない」と実感していただけるよう、組合員の皆さんや地域の方々からいただいた「声」をもとにJA自己改革を進めていきます。今後も引き続きJA活動へのご意見・ご要望をよろしくお願い申し上げます。



令和2年度 ハッピーマイライフ『家の光』12月号普及活用全国特別運動

12月号別冊付録の特長をご紹介します

これからの人生を考え
家族と話し合うきっかけに

先の見通せない今こそ、
家計簿記帳!



JAグループの
ファミリー・マガジン

『家の光』

12月号
別冊付録付き購読申し込み受付中
1,027円(税込)お申し込み
お問い合わせは
各支所組合員課まで

組合員・利用者の皆様へ

お詫言

当組合では倉吉労働基準監督署より、職員勤務報告書(昨年10月分)が書類内容相違としての指摘があり、このたび罰金による略式命令を受けました。組合員・利用者のみならず組合は多大なご心配と迷惑をおかけしました事、心よりお詫言申し上げます。今後については、コンプライアンス研修及び労務管理体制の強化を実施し、万全の再発防止策を講じるとともに、JA鳥取中央役職員一丸となり、信頼回復に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解ならびにご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

令和2年9月1日

鳥取中央農業協同組合 代表理事組合長 栗原 隆政

新型コロナウイルス
による
イベント中止
のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記のイベントの中止をお知らせいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。

第23回JA鳥取中央年金友の会グラウンド・ゴルフ大会
第22回JA鳥取中央年金友の会ゲートボール大会
JA共済アンパンマン交通安全キャラバン

JA鳥取中央
葬祭センターTEL(0858)47-0983
FAX(0858)47-0981

☎0120-80-9831

通話料無料
24時間受付メモリアルホール
報恩舎
〒682-0017
倉吉市清谷町2丁目143
TEL(0858)47-4300
FAX(0858)47-4320メモリアルホール
福本
〒682-0604
倉吉市福本220-1
TEL(0858)48-2100
FAX(0858)48-2101メモリアルホール
あじさい
〒689-2303
琴浦町徳方282-13
TEL(0858)53-1184
FAX(0858)52-3943

直売所探検隊



楽市楽座

東伯郡三朝町大柿591

TEL/43-2286 定休日/なし

営業時間/12月～2月 8:30～17:00

3月～11月 8:30～17:30

特産品で地元を活性化!!

やま だ みちはる
泉の里くんせい工房 山田 道治さん 三朝町今泉

今回ご紹介するのは、楽市楽座に燻製品を地元の特産物として出荷している「泉の里くんせい工房」の代表山田道治さんです。山田さんたちは「自分たちのむらは自分たちで守っていく」を趣旨として、今泉の住民全員参加の運営組織として設立された「泉の里とんがり倶楽部」で活動する会のひとつです。地元の特産品作りの検討の際、山田さんが「食べたら美味しかった」ことから「燻製」を提案。平成13年に地域活性化事業を利用して工房が開設されました。「日本海の魚のほとんどに猪や地鶏、豆腐やぬか漬など色々試したが、生ものを扱うので商品開発は苦労の連続だったね」と山田さんは振り返ります。長年の試行錯誤

の結果、現在は猪肉、鶏もも肉、砂肝、豆腐、鯖が主力の商品ですが、燻製作りは煙の状態や温度管理など、長時間目が離せず気を使うので大変だそうです。保存料や着色料などの添加物を一切使わず、三朝や倉吉など中部地区の桜の丸太で5～6時間じっくりと燻す方式にこだわり、手間暇をかけて安全・安心な燻製作りを行っています。「三朝町のふるさと納税の返礼品に採用されるなど、燻製が特産品として認知されるようになったのが嬉しいね。直売所で購入された県外のお客様からも声が掛かるよ」と満面の笑顔の山田さん。今後について何うと「今年から『ウインナーづくり体験』を始めました。自分で作ったウインナーを食べてみませんか?! 興味のある方は事前に予約をお願いします!」との事です。特産品の燻製作りが始まった地元の活性化。これからも頑張ってください! 応援しています!

ここで楽市楽座の村中店長からひとこと「鳥取の名産名品とお彼岸用品も多数揃えて皆様の来店をお待ちしています!!」



お彼岸の準備は直売所で!

9月18日(金)～22日(火・祝)



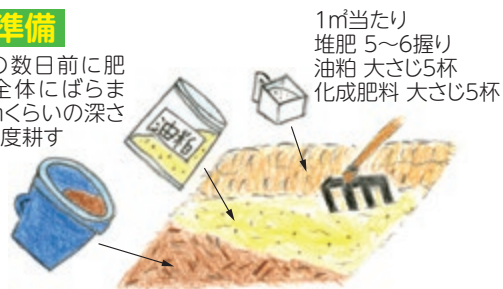
花やお供え物など、お彼岸の品を揃えています。
ぜひ、お近くの直売所へお立ち寄りください。



あなたもチャレンジ! 家庭菜園 カブ

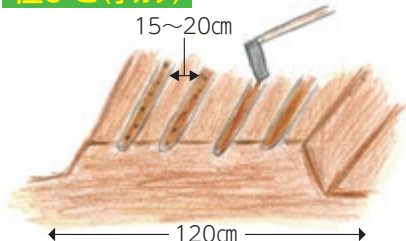
畑の準備

種まきの数日前に肥料を畑全体にばらまき、15cmくらいの深さにもう一度耕す



1㎡当たり
堆肥 5～6握り
油粕 大さじ5杯
化成肥料 大さじ5杯

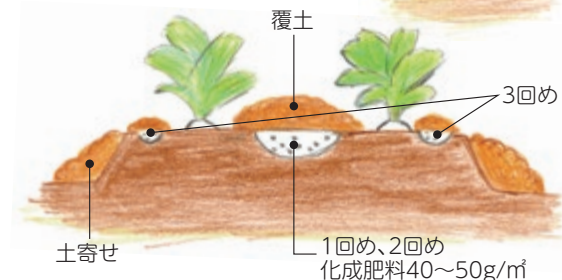
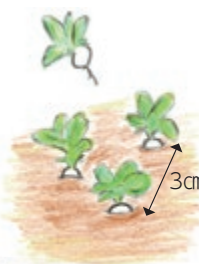
種まき(小カブ)



条つけ鋤でまき溝を浅くつけ、2cm程度の間隔に条まきし、ごく薄く覆土する

間引き・追肥

本葉2、3枚になったら生育の悪い株、込みぐあいをみて間引き
また、本葉5、6枚ころ、根の形が悪いものを間引き



追肥はそれぞれの間引き後に条間に施すか、ばらまきのときは300～500倍の液肥を7～10日おきに水やり代わりに与える

カブの豆知識

日本でいつごろからカブが栽培されるようになったかは定かではありませんが、もっとも古い野菜の一つであるのは確かなようです。中国から直接、あるいは朝鮮半島経由で日本に導入されたといわれますが、現在ある東洋種の品種は、日本で成立したものと考えられています。

JAイベント情報

あなたの
暮らし応援フェア
10/17(土)・18(日)

9:00～16:00 JA鳥取中央〈本所〉各階

- ◎ **出張直売所** 屋外:太陽閣入口
「旬鮮プラザ 満菜館」が出張販売いたします。
- ◎ **金融相談会** 2階:第1会議室・第2会議室
年金相談会 **要予約**・ローン相談会【住宅・マイカー・教育・フリー】
ご予約先:JAバンクJA鳥取中央(0858-23-3042)
- ◎ **家族葬相談会** 2階:第3会議室
第2回「家族葬」相談会を開催します。**要予約**
ご予約先:JA鳥取中央葬祭センター(0858-47-0983)
- ◎ **観光相談会** 2階:第3会議室
旅行から各種宴会などご相談ください。
- ◎ **オータムファッションコレクション2020** 3階:大会議室
バッグ&シューズコレクション、ジュエリーコレクション、ラッキーカラー診断、その他。

表紙の写真説明



すきざき ともや
鋤崎 友哉さん(46)

今月の表紙は、倉吉市関金の米農家、鋤崎友哉さんです！ 友哉さんは、コシヒカリや星空舞、もち米に飼料米など受託している分も含めて14ha栽培しています。10年前から農業を始め、3年前からは友哉さんが主体となって作業と管理を行っています。「米作りは毎日が勉強です。近所の人に聞いて学びながら、水や肥料を変えて試験栽培してみたり、植える間隔を変えてみたりと毎年研究し、収量をあげられるように取り組んでいます」と栽培にかける思いを話していただきました。「今の時期(取材時8月下旬)は、とにかく草刈りが大変。暑さとの戦いですね笑」と草刈り機を手にしながらかわやかな鋤崎さんスマイルをいただきました◎！

読者からのお便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

あなたの心の支えになっているものを教えて下さい。

困っている時に話を聞いてくれる友達がいること。
(ゆーちゃんさん)

仕事で遅くなる日が続いた時、いつも美味しい夕食を作ってくれた夫に感謝感謝です。今は、二人のんびり過ごさせてもらっていますが、これからもよろしく願います。いつもありがとうございます。
(もじもじさん)

妊娠中で、予定月は来月で、もうすぐです。色々なことがありますが、お腹の子がすくすく

くと成長しているのを体で感じ幸せに暮らしています。私の心の支えです。
(藤原さん)

「楽をしていてはいい結果は出ない。つらい事も継続することで必ずいい結果が出るよ」と言ったおばあちゃんの一言。
(福本さん)

家族が元気で笑顔でいてくれることが心の支えです。
(一人静かさん)

学生時代に亡き父親がくれた唯一残っている一通の手紙。
(はちのむさしさん)

私の心の支えは娘です。友達のような感じで悩みや相談も聞いてくれて心強いです。
(ふじこさん)

勉強し続けることで自分に自信をつけること。
(石黒さん)

【次号のお題】

「次世代へ伝えたい大事なこと」

という事で、次号のお題は「次世代へ伝えたい大事なこと」を大募集です。たくさんのお便りをお待ちしております。

投稿者からの声

○「川柳」大好きです！笑顔になります！

(種部さん)

○線虫を使ったがん検査、初めて知りました。

(みーちゃんさん)

○梨が大好きですが、こんなに種類があるとは知らなかったです。(佐中さん)

○クロスワードパズルに初めて参加、楽しく解けました。
(山根さん)

○これからも元気な生産者さんの話題を楽しみにしています。

(ゆづすみさん)

○女性会の活動紹介がたくさんあって良かったです。

(福井さん)

暮らしと川柳

課題「和」

鈴木 公弘 選

やあやあと和気あいあいのクラス会
帰省客和む間もなくUターン
県産の和牛を食べて元気です
手作りケーキみんなが和む自粛時
古き良き器集める和テイスト
三密が丁度よい距離和を保つ
調和からずれて足踏み繰り返す
自然との調和乱したツケが来る
和の基本カツオ昆布の美味さ出す

倉吉市 石田 稔子
倉吉市 山本 滋
三朝町 岩本 文子
倉吉市 山崎恵美代
北栄町 西村奈保子
湯梨浜町 谷本 真樹
倉吉市 山松みち子
湯梨浜町 川口 亜矢
倉吉市 横山智恵子

【今月の佳吟】

絡み合う人をほどこいて和を保ち

湯梨浜町 和田 三郎

(評) 集団には熱くなった場をなだめすかす役割の人が必要である。時として強引に割って入る事態があるから口上手な実力者がよい。間違っても火に油を注ぐおせっかいタイプではダメである。出来ることなら物知りの長老ほどよからう。ただし、和を保つ意欲が高じて、集団トップ層の運営方針を変質させて下部に伝えたり、古参顔を活かしてトップの座を狙うなど、私利私欲を秘めた人物はもってのほかである。集団は常に自律していかなければならないからである。
(投句総数64)

※次号の課題は「命」です。締切9月23日(水)必着

住所、氏名(雅号もフルネームをご記入下さい)、電話番号、作品1人三句以内を、裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。

◆今後の課題「点」 締切10月22日(木)予定



旬をたべちゃお♪

おうちでごはん!



小田 秀 料理探究家

ヘルシー!おしゃれ♥なCaféレシピに定評がある。
安全安心な食材を用いた、健康を意識した料理を探究中。料理教室を開催している。管理栄養士、サプリメントアドバイザー、健康運動指導士などの資格を持つ。

残暑の中にも、ほのかな秋の気配が感じられる季節となりました。旬のシャインマスカットを使ったスイーツを紹介します。夏の疲れを癒やす、あま〜いひと時をお楽しみください♪

シャインマスカット白玉

爽やかな酸味のシャインマスカットに、甘酸っぱいレモンシロップとつるんとした食感の白玉を合わせました。見た目も涼し気なデザートです♪

■材 料(2人分)

シャインマスカット……200g	※	水 ……………100ml
白玉粉 ……………50g		砂糖…………大さじ2
水 ……………50ml弱		レモン汁……大さじ1
		ミント…………2枝

■作り方

- ① レモンシロップを作る。鍋に※の砂糖と水を入れて火にかけ、ひと煮立ちさせる。ボウルに移し、あら熱を取り、レモン汁を加え冷蔵庫で約1時間冷やす。
- ② シャインマスカットは、横半分に切り冷蔵庫で冷やしておく。
- ③ 白玉粉に水を少しずつ加え、指先でかたまりをつぶすようにしながら混ぜる。よくこね、耳たぶ程度の柔らかさにまとめる。棒状にのばし12等分にし、ひとつずつ丸める。
- ④ 鍋にたっぷりの湯を沸かし、③を入れる。浮いてきてからさらに1〜2分ゆでる。冷水にとってさまし、水気をきり、①のシロップに浸ける。
- ⑤ シャインマスカットと白玉を合わせて器に盛り、シロップをかけてミントをトッピングする。



【お願い】

片面全てにのりを付け、“**全面密着**”でご投函していただきますようお願いいたします。

※「のりしろ」部分に空洞があった場合、郵便ハガキとして受理されない場合がございますので、ご注意ください。

折
り

のりしろ



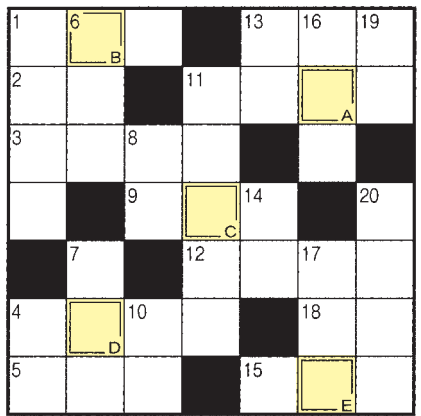
アタマの体操 クロスワードパズル

今月のプレゼントは

輝太郎(柿)



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D	E



秋号の答え
メイゲツ

タテのカギ

- 1 本のこと。電子――
- 4 釣った魚を入れておく籠
- 6 今日の――ディッシュはステーキです
- 7 漢字では秋刀魚と書く青魚
- 8 ここからばた餅が落ちてきたらラッキー？
- 10 牛の頭に生えています
- 11 この下駄箱は――だから動かさません
- 13 ドリルで開けるもの
- 14 焼き肉を漬けたりかば焼きに塗ったり
- 16 うわさが広まるときに付きやすい
- 17 10月10日は目の――デーです
- 19 やぼではありません
- 20 腰をひねるようにして踊るダンス

ヨコのカギ

- 1 匂いマツタケ。味――。おいしいきのこです
- 2 日が暮れてすぐの頃
- 3 晴れた日にはかどりやすい家事
- 4 ―油を付けて日本髪を整えた
- 5 世界遺産の一つ、――古道
- 9 千葉県にある市。大きな国際空港があります
- 11 運動会の競技の一つ
- 12 配偶者のことです
- 13 徳川家の家紋に使われている植物
- 15 眠ったまま話します
- 18 ベンチもこれの一種

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 9月28日(月) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- FAX 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう9月号」良かった記事は？(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| ☐ 表紙 | ☐ 直売所探検隊 |
| ☐ 特集 | ☐ あなたもチャレンジ!家庭菜園 |
| ☐ ～次世代を担う～&旬感!きりり人 | ☐ 読者からのお便り紹介 |
| ☐ 女性会・青壮年部の活動紹介 | ☐ 暮らしをうたう川柳 |
| ☐ 地域情報発信室 | ☐ 旬をたべちゃお!おうちでごはん! |
| ☐ トピックス | ☐ クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。) ※クロスワードの「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D	E

●次号のお便りのお題「次世代へ伝えたい大事なことを教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

(ペンネーム: _____)

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
2021年2月
7日まで
切手不要

6 8 2 8 7 9 0

倉吉市越殿町1409

鳥取中央農業協同組合

総務部 広報課 宛

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。